

2008年度

科目名 医療秘書学	対象学科・学年 人間人社2回生	担当者 貫名 譲
授業テーマ 医療機関における人間関係		
授業の概要と目標 より多様化・専門化する今日の医療業務において、医療秘書の役割とは、「医師の広範な機能を円滑に運び、かつ医師が本来の社会的責務を十分に果たすことができるよう、主として事務的な面で医師を補佐すること」であるとされています。従って、医療秘書は、一般企業の秘書の業務知識プラス、医学に関する十分な基礎知識が求められます。授業においては、医療に関する基礎知識・医療事務・人間関係などを、ビデオ教材を使用しながら、医療秘書の役割について考えていくたいと思います。		
評価方法 出欠状況（30%）授業中の態度（20%）課題の提出・筆記試験（50%） 総合評価で行います。		
テキスト 医療管理学	著者 尾崎 重高	出版社 (財)日本病院管理教育協会
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ① はじめに ② 医療秘書とは ③ 病院とは何か (1) 医療のしくみ① ④ 病院とは何か (1) 医療のしくみ② ⑤ 病院とは何か (2) 信頼される病院とは何か① ⑥ 病院とは何か (2) 信頼される病院とは何か② ⑦ 医療秘書の役割 ⑧ 接遇マナー (1) 患者さんへの対応 ⑨ 接遇マナー (2) 笑顔の作り方 ⑩ 接遇マナー (3) 電話の対応 ⑪ 接遇マナー (4) 敬語の使い方 ⑫ 医療に関する現代用語の基礎知識 (1) ⑬ 医療に関する現代用語の基礎知識 (2) ⑭ まとめ ⑮ 試験		